

平成27年度 福島県立福島東高等学校 経営・運営ビジョン

目標達成のための4つの柱

A. 主体的な学び

B. 文武両道の環境整備

C. 開かれた学校づくり

D. 指導力の向上

モットー 「文武両道」

校訓 創造 協調 躍進

教育目標

新しい時代における自己の役割をたしかめ、社会に貢献できる有為な人間を育てるために、知・徳・体の調和を重んじ、豊かな教養と正しい判断力を身につけさせることを目標とする。

教職員が全力で対応します

校長 本多光弥

本校は、「創造・協調・躍進」という校訓のもと、知・徳・体のバランスがとれ、未来をひらく確かな学力と豊かな心、この時代をたくましく生き抜く力を持った人間の育成を目指した教育を、本校伝統の文武両道の精神をモットーに実践しています。

一昨年度から始まった大規模改修工事を円滑に推進して教育環境の整備に努めるとともに、生徒たちが明るく元気に充実した学校生活を送ることができるよう、そして、それぞれの進路希望実現を目指し、教職員自らが互いに切磋琢磨して指導力の向上に努め、徹底した学習指導による基礎力の養成の上に、主体的に学ぶ姿勢や様々な問題を解決していく力を養うべく、今後とも生徒たちに全力で対応して参ります。

A. 主体的な学び

生徒の主体性を高め、学びの質的向上を図ります。

1 授業の充実

- ① 授業時数を確保し、授業の完全実施をめざします。
- ② ゼロ授業を実効あるものにします。
- ③ 多様な授業の展開により、学習内容の定着を図り、確かな学力を持つ生徒を育てます。
- ④ シラバスを作成し、学習進度を明示します。

2 大学との連携強化

- ① 大学教官を講師とする「学問入門講座」を実施し、キャリア教育の充実を図ります。
- ② 一日大学体験を実施します。

3 在り方生き方の指導

- ① ホームルーム活動とおし、自律的・主体的な価値判断の育成に努めます。
- ② 生徒・保護者との対話をより緊密にし、進路に対する主体的な意識の育成や学習環境づくりに努めます。
- ③ 読書の習慣化、図書館利用の推進をおして、豊かな教養と知性の向上をめざします。

B. 文武両道の環境整備

生徒が、学習活動と部活動の両立に努めることができる環境を整備します。

1 学習時間の確保

- ① 家庭学習確保を啓発するために、家庭学習時間調査等を実施し、生徒1人ひとりに対応する指導を展開します。
- ② 授業と家庭学習の関連を密にするよう教科指導に努めます。
- ③ 長期休業中の課外、土曜講座、学習会等の効果的運営に努めます。

2 進路目標の達成

- ① 「大学進学プロジェクト事業」などの進路意識・主体的な学びの啓発事業を効果が上がるように実施します。
- ② 二者面談、三者面談の実施、進路資料の効果的な活用など、きめ細かな進路指導を行います。

3 部活動への精励

- ① 部活動と学習の両立が達成できるように、支援体制の構築に努めます。

4 大規模改修工事への円滑な対応

- ① 生徒の安全を確保し、学習環境への影響が最小となるように努めます。

C. 開かれた学校づくり

保護者・地域の皆様には、交流の機会を増やし、説明責任を果たします。

1 情報の提供

- ① 学校ホームページをとおして、学校からの積極的な情報発信に努めます。
- ② 「東高通信」「保健だより」等を発行し、保護者への情報提供をします。
- ② 授業・部活動の様子を「ふくしま教育週間」などで公開します。
- ④ 学年PTAで、「進路講演会」を実施します。

2 説明責任の実行

- ① 学校評議員会を開催します。
- ② 学校評価の結果を公表・説明します。

3 地域との交流

- ① 地域の人を講師とする「職業人に聞く」を実施します。
- ② 周辺地域への清掃奉仕活動で地域に奉仕する心を育てます。

D. 指導力の向上

教職員は、自己研修の充実を図ります。

1 研修の充実

- ① 校内研修・公開授業等を推進し、授業力の向上に努めます。
- ② 職員研究協議会を開き、活発な意見交換をおし、諸問題の解決を図ります。
- ③ 職員会議、朝の職員打ち合わせ等をおし、情報の共有化に努めます。
- ④ 研修を充実し、学校事故等の防止に努めます。
- ⑤ 新学習指導要領を円滑に実施できるよう、研究・工夫に努めます。

2 学校評価の活用

- ① 学校評価の結果をもとにして、学習指導・生徒指導・進路指導等の向上に努めます。

3 教育相談体制の充実

- ① スクールカウンセラーとの連携を密にするなど、悩みや不安を抱えた生徒の心身の健康に対処する力の向上に努めます。